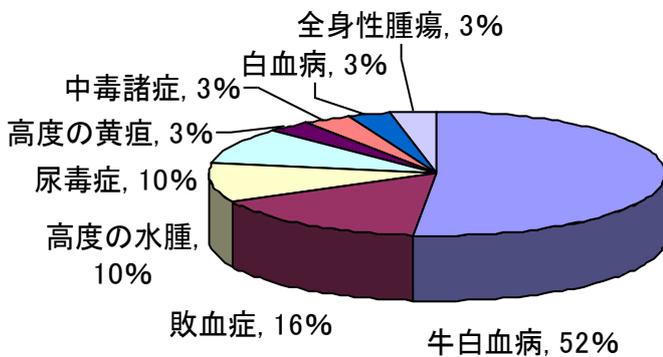


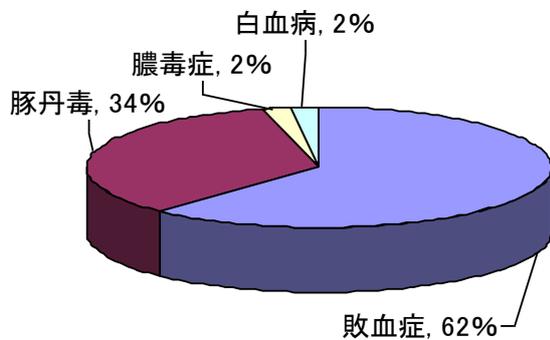
## 平成22年度の全部廃棄状況

福岡市食肉衛生検査所では、平成22年度に牛を18,672頭、豚を127,968頭検査しています。その内、一部廃棄となった牛は12,495頭、豚は85,763頭であり、全部廃棄となった牛は31頭、豚は50頭でした。全部廃棄理由として最も多いのは、牛では牛白血病（16頭）、豚では敗血症（31頭）でした。

牛の全部廃棄理由

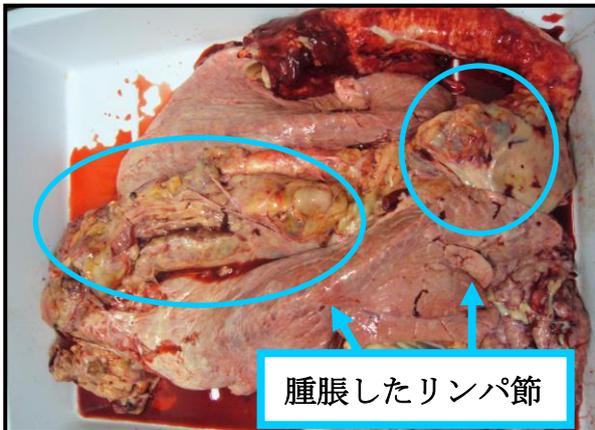


豚の全部廃棄理由



### 牛白血病

リンパ球の腫瘍（いわゆる“がん”）で、アブの吸血等により牛白血病ウイルスに感染した牛の数%が発症します。発症した牛には、削瘦、眼球突出、全身リンパ節の腫脹などの症状がみられます。生体検査時に発見された場合はとさつ禁止に、解体後検査時に発見された場合は全部廃棄になります。



### 敗血症

種々の細菌の感染による全身性炎症反応（悪寒、発熱など）を伴う疾病。感染により形成された病巣から細菌が血液中に持続的に送り込まれ、全身汚染を引き起こします。写真は心臓の弁に形成された疣状結節を示しています（敗血症を発症した豚で最もよくみられる病変です）。



福岡市食肉衛生検査所

〒812-0055 福岡市東区東浜2-85-14

TEL.092-651-3404 FAX.092-651-9015